

和良の郷だより

立 春 号
2月1日号
和良おこし
協議会発行



2019年1月1日
（元日）、和良で新年の
恒例となりました「ニュー
イヤーズマラソン」が開
催されました。

「ニューイヤーズマラソン」

2019 in WARA
― 節目の年を迎え思ふこと・願ふこと ―



この日はお天気も良く、朝方は強く冷え込んだものの日があがると比較的穏やかな気候となり、マラソンには絶好の日となりました。毎年参加の方もおられ、初めての参加の方もおられ、和良町内外から約150名の参加者が新春の和良町を走り抜けました。45回目の開催となりますが、今年もたいへん盛り上がりしました。ゴール前のきつい坂を上りながらも参加者には充実した顔や、笑顔が見られます。この企画は、郡上陣屋組の中学生のメンバーたちによる和太鼓の演奏もあり、ゴール後には豚汁やぜんざいなどもふるまわれ、表彰とは別にお楽しみ抽選会なども行われました。ここから和良町の新年が始まります。

平成としての年明けはこれが最後。昨年は豪雨や台風等による災害の多い年でありました。和良町においても庁舎の裏が水害の被害に見舞われました。今年はいくつな意味で節目を迎える年でもあります。和良町が115年の歴史の幕を閉じ、郡上市と合併してから15年を迎えます。和良町沢の大火から70年、伊勢湾台風から60年、奥美濃地震から50年、9・15豪雨から20年、平成16年台風23号から15年などの大きな災害からの節目の年にも当たります。近年では猛暑、豪雨、豪雪などの異常気象が発生しており不安は募るばかりです。

また、人口減少なども全国的には大きな転換期に差し掛かっていますが、ここ和良町には多くの方が移り住んできています。和良に住む人が楽しく暮らす姿は広く波及していくものと思います。既住者と来住者が皆で楽しく暮らして、ふるさとを盛り上げていきたいと思えます。新しい年もニューイヤーズマラソンの様に晴れ晴れとしたスタートがされるものと思えます。

5月からはいよいよ元号が改まります。新元号のものと明るく素敵な時代になりますように願いたいと思います。

岐阜大学地域科学部・林琢也研究室 2018年度 卒業論文発表会

【大学生が卒論で語る地域への学習】
和良町の地域づくりに毎週協力いただいている、岐阜大学地域科学部林琢也先生の研究室に所属する学生さんが、卒業論文を和良町で発表します。

様々な視点から、様々なネタで、地域づくりについて研究されている学生さんの成果発表です。
昨年、和良町で行われた地域学実習の成果報告も行われます。集落づくりの参考に皆様お誘いあわせの上お越しください。

また、これから進学などを考えている中学生や高校生の皆さん「大学って、どんなことしているのかな?」を知る、良い機会です。
どうぞ、ご家族でお気軽にご参加ください。

と き：2月10日（日曜日）14時より

と ころ：わらおこし 岐阜県郡上市和良町下洞554

主 催：岐阜大学地域科学部・林琢也研究室

共 催：和良地域協議会

和良おこし協議会

協力：和良振興事務所

問 合 せ：和良おこし協議会

☎0575(77)2277

※写真は全て昨年度の様子です。

※詳細なプログラムに関しては別紙のチラシをご参照下さい。

入場無料



昭和42年度和良村生同窓会

ー変化を続けながら歴史を刻む和良ー

昭和42年度に和良町（旧和良村）で生まれた同窓生のプチ同窓会が1月2日（水曜日）「わらおこし」にて開催されました。

この年に生まれた同窓生は37名で、この日は11名が集まりました。郡上市内や和良町、お隣の金山町など近隣に住む者は6名ですが、その後帰ってくる人もある様です。子供たちの手も離れ、集まれる時間も持てる様な年齢にようやくなってきました。同窓生は和良保育園から和良小学校、そして和良中学校までの時間をほとんど一緒に過ごしてきた仲間たちです。時を経て、今はそれぞれ暮らす場所は違っていますが、会うとすぐに昔のままに戻ります。当時のニッケネームで呼び合って、子どもの頃の懐かしい話に盛り上がりました。それに加えて現状報告、子どもの事、病気話なども。「和良を頼むね」という嬉しい応援もいただきました。

昭和42年と言えば、日本の国民総生産が1,140億ドルで世界第3位になった頃。住民基本台帳制度が施工されたり、山陽新幹線の起工も行われております。ここ和良村では村立保育園の開園、稚蚕共同飼育所の完成、和良病院に保健ドッグが開設されておりました。その後、昭和44年には土京小学校が和良小学校に統合され、昭和46年には和良小学校新校舎が総工費1億2千万円をかけて完成しました。翌47年には県教委から郡上高校和良分校の募集停止が発表されて、村内は騒然となったようです。

昭和40年代を振り返ると、和良村の一般会計予算額が1億円の大台を超え、社会基盤の整備と福祉施策の推進が図られました。都市と山間部の地域格差を是正する目的で「明るく、豊かな、住みよい郷土づくり」というスローガンも叫ばれるようになり、ふるさとの活性化が求められる時代となって行きました。しかし、村の人口は減り続け昭和45年には3,000人を割り、国の過疎地域対策振興法の適応を受ける事となります。そうして昭和48年の石油ショック、バブルと

バブル崩壊を経験しました。和良村の115年の歴史に終わりを告げる郡上市との統合、それに加え地球規模での大きな出来事や変動も経験してきました。

昔遊んだ川や山野、仲間たちの笑顔、そして和良の暮らし。それぞれに少しずつ変化はありますが、これからもふるさと和良は歴史を刻んでいきます。



「わらおこし」施設案内

人々の集いの場として！
「同窓会」や「会議」「懇親会」「各種教室」などにお使い下さいませ。

使用時間と施設使用料

貸出しスペース：1階・2階
キッチン・バスルームは付帯設備
使用料金：午前・午後・夜間
それぞれ4時間まで使用可
2,000円
付帯設備使用料金：
キッチン 1,000円
シャワールーム1,000円

※施設を使用されたい方は事前にご予約下さい（申し込み順）
※キッチンを長時間使用する際は使用料があがる可能性があります
※施設の見学、「相談も預かりますので、お気軽にご連絡下さい」

和良町の人口

平成31年1月1日現在

人口

1,684人

男性

819人

女性

865人

世帯数

654世帯

大阪産業大学・四天王寺大学 2018年度 地域実習成果報告・卒業論文発表会

【研究成果と卒論で語る地域への学習会】和良町の自然や文化を学び、交流を通じた地域の活性化を志向するなど、普段から和良地域協議会や和良おこし協議会の地域づくりにご協力をいただいている両大学。

人と自然のかかわり、人と人のかかわりから地域づくりをかんがえるために、和良町をフィールドに地域調査実習も行っています。

昨年、和良町で行われた地域学実習の報告。また、和良町での経験をもとに各地で取り組まれた卒業論文の発表。これからの地域づくりの参考になるのではないのでしょうか。

ぜひ、ご家族でお気軽にご参加ください。

とき：2月19日（火曜日）19時30分より

ところ：わらおこし 岐阜県郡上市和良町下河554
主催：大阪産業大学デザイン工学部

環境理工学科・川田美紀研究室
四天王寺大学人文社会学部

社会学科・五十川飛暁研究室

共催：和良おこし協議会

協力：和良地域協議会

和良振興事務所

問合せ：和良おこし協議会

☎0575(77)2277

※写真は全て昨年度の様子です。

※詳細なプログラムに関しては別紙のチラシをご参照下さい。



入場無料